

箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり

<就労継続支援B型事業>

(1) 概要

- 今年度も箕面市指定ごみ袋の製造作業が作業の中心であった。
- 多様な働く機会や社会生活に必要な経験を提供するため、箕面市障害者事業団の職場体験実習(花壇管理と植物リースに関わる作業)に3名(延べ38日間)が参加した。
- 利用者の移行に伴い、契約者数は2名減となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	利用率向上、収入増に向けた取り組み	○利用者の移行に伴い契約者数は2名減となった。 ○相対的に利用率が低い利用者が移行となったため、平均利用率は前年度より0.4%上昇した。
2	効率的な送迎サービスの検討	○箕面市立あかつき園・ワークセンターで送迎車両を1台増便して、送迎サービスを実施した。 ○利用者間の相性や利用者の障害特性に配慮しつつ、送迎ルートの見直しや1台あたりの送迎人数を増やすなどの対応を行った。
3	工賃拡大に向けた取り組み	○引き続き箕面市指定ごみ袋の製造作業を中心に、定期的な清掃作業や農園作業に取り組んだ。 ○地震・台風等により開所状況が変動したこと、機械が故障したことなどの理由で引き続きごみ袋製造作業が中心となったこともあって、新たな作業の開拓までには至らなかった。
4	虐待防止・再発防止の取り組み	○10月と2月に法人全体で開催した人権研修に、箕面市立あかつき園・ワークセンターから各60名の職員が参加して、グループワークを通して虐待防止について考える機会を設けた。 ○日々の支援を振り返るための虐待防止チェックリストに基づくセルフチェックを8月と2月に実施した。
5	多様な働く機会や社会生活に必要な経験の提供	○箕面市障害者事業団体験実習を実施し、花壇管理と植物リースに関わる作業に3名(延べ38日間)が参加した。
6	指定管理者アンケート、府社協福祉サービス第三者評価、施設サポートサービス結果を踏まえた対応	○西南小学校等6団体、延べ157名の見学を随時受入、来社者アンケートを7回実施した。 ○指定管理者アンケートにおいて改善意見が多かった給食のクックチル方式に関して、9月より給食業者への委託による現場調理方式での給食提供を再開し改善を行った。 ○チーム別懇談会について、就労継続支援B型事業では前年度に続き参加者がいなかった。そのため、今後は個別での懇談・見学等の機会を増やすこととした。 ○障害特性に応じた支援を行うため、専門家の助言・指導(作業療法士2回/月、臨床発達心理師1回/月、嘱託医1回/月)を受けて、支援の随時改善等を行った。
7	職員育成	○利用者支援等に関する外部研修に延べ8名が参加した。 ○箕面市立あかつき園・ワークセンター内での内部学習会を13回実施して、職員の支援スキル向上を図った。 ○各職員と年1回以上の面談を行い、困りごとや躓いていることなどを、ともに解決していくよう努めた。

(3) 今後について

- 箕面市指定ごみ袋の製造及び配送作業、他事業所との作業シェアについて、引き続き関係団体とも調整しながら円滑に実施していく。
- 工賃拡大に向けて、引き続き新たな作業種の開拓等の検討を行っていく。
- 「重度障害者のための生活介護事業所整備構想(たたき台)」に基づく進捗状況を確認しながら、製袋事業の今後のあり方についても箕面市と協議を行っていく。

(4) 主な活動内容

①生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	平成29年度	平成30年度
箕面市指定ごみ袋の生産	90,426,326円	94,976,756円
館内清掃	100,000円	100,000円
計	90,526,326円	95,076,756円

イ) 利用者1人あたりの月額平均工賃額(特別工賃を含んで換算)

	平成29年度	平成30年度	前年度比
就労継続支援B型	6,589円	12,643円	191.8%

②施設外支援

実習先	参加人数(実数)	参加延べ日数	職種
箕面市障害者事業団	3名	38日	緑化部門(花壇管理等)/3名・38日

③その他の活動

- 健康活動(ラジオ体操、ウォーキング、ダンス、体重測定等)
- 創作活動(ペーパークラフト、さをり織り、凧揚げ、福笑い等)
- 社会活動(買い物、公共交通機関の利用、所外活動等)

(5) 在籍者状況(平成31年3月31日現在)

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
平成30年度	7名	29.4歳	11.6年	92.0%	7.2名
平成29年度	9名	27.6歳	9.7年	91.6%	9.1名

平成30年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	0名	0名	5名	2名	0名	0名

箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり

<生活介護事業>

(1) 概要

- さをり製品について、幅広い年代向けに商品を14種類増やしたことにより売上は前年度より8万8千円(38%)増加した。
- 前年度に作成した全利用者分「利用者支援概要シート」の更新を行い、利用者状況の変化や支援の変更内容を職員間で共有した。
- 体調不良や入院を未然に防ぐことを目的として、看護師による医療的ケアの実施について、適宜対象者を拡大し対応した。
- 新規利用に伴い契約者は2名増となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	利用率向上、収入増に向けた取り組み	○新規利用に伴い契約者は2名増となった。 ○上半期の利用率は0.1%増であったが、下半期には3名の利用者が体調を崩されるなどして長期欠席が続いたため、年間での利用率は前年度より0.4%低下した。
2	効率的な送迎サービスの検討	○箕面市立あかつき園・ワークセンターで送迎車両を1台増便して、送迎サービスを実施した。 ○利用者間の相性や利用者の障害特性に配慮しつつ、送迎ルートの見直しや1台あたりの送迎人数を増やすなどの対応を行った。
3	工賃拡大に向けた取り組み	○さをり製品について、幅広い年代向けに商品を14種類増やしたことにより、売上は前年度より8万8千円(38%)増加した。 ○当面、実施している作業(さをり・農園・ペットボトル分別・空き缶リサイクル)の安定的な継続を目指し、その他の作業種の開拓までは行わなかった。
4	虐待防止・再発防止の取り組み	○10月と2月に法人全体で開催した人権研修に、箕面市立あかつき園・ワークセンターから各60名の職員が参加して、グループワークを通して虐待防止について考える機会を設けた。 ○日々の支援の振り返りを行うための虐待防止チェックリストに基づくセルフチェックを8月と2月に実施した。
5	指定管理者アンケート、府社協福祉サービス第三者評価、大阪社福士会施設サポートサービス結果を踏まえた対応	○西南小学校等6団体、延べ157名の見学を随時受入、来社者アンケートを7回実施した。 ○指定管理者アンケートにおいて改善意見が多かった給食のクックチル方式に関して、9月より給食業者への委託による現場調理方式での給食提供を再開し改善を行った。 ○家族参加型のイベントや見学会と合わせてチーム別懇談会を2回実施し、日中活動の様子を見てもらう機会を設けた。 ○障害特性に応じた支援を行うため、専門家の助言・指導(作業療法士2回/月、臨床発達心理師1回/月、嘱託医1回/月)を受けて、支援の随時改善等を行った。
6	介護技術の標準化への対応	○前年度に作成した全利用者分「利用者支援概要シート」の更新(個別支援計画に基づく支援の要点など)を行い、利用者状況の変化や支援の変更内容を職員間で共有した。
7	医療的ケアへの対応	○看護師による医療的ケアの実施について、体調不良や入院を未然に防ぐことを目的として、適宜対象者を拡大対応した(2名)。
8	職員確保・育成	○利用者支援、チームマネジメント、業務管理、リスクマネジメント等に関する外部研修12講座に延べ26名が参加した。 ○箕面市立あかつき園・ワークセンター内での内部学習会を13回実施して、職員の支援スキル向上を図った。 ○各職員と年1回以上の面談を行い、困りごとや躓いていることなどを、ともに解決していくよう努めた。

(3) 今後について

- 発達障害など特段の支援を要する利用者及び利用者の相互関係に配慮したチーム編成と支援体制等を検討・実施していく。
- 箕面森町を含む箕面市全域を対象とした効率的な送迎サービスについて検討・実施していく。

(4) 主な活動内容

① 生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	平成29年度	平成30年度
箕面市指定ごみ袋の生産	3,900,000円	4,080,000円
さをり製品等製造販売	228,894円	317,620円
ペットボトル、アルミ缶リサイクル等	161,771円	118,091円
農園芸	553,503円	605,301円
館内清掃	400,000円	400,000円
計	5,244,168円	5,521,012円

イ) 利用者1人あたりの月額平均工賃(特別工賃を含んで換算)

平成29年度	平成30年度	対前年度比
1,642円	3,522円	214.4%

② その他の活動

- 健康活動 (機能維持訓練、ダンス、プール、ウォーキング等)
- 生産活動 (館内・館外清掃等)
- 日常生活・社会適応訓練 (図書館利用、買い物、調理、喫茶、外食等)
- 創作活動 (書道、手芸、季節の壁面飾り等)
- 文化活動 (音楽療法、音楽活動、音楽・DVD鑑賞、演劇等)
- 社会活動 (古切手の切り取り等)

(5) 在籍者状況 (平成31年3月31日現在)

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
平成30年度	69名	29.2歳	10.6年	92.2%	63.7名
平成29年度	67名	28.7歳	10.1年	92.6%	62.1名

平成30年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	38名	21名	10名	0名	0名	0名

瀬川拠点区分事業活動明細書

(自) 平成30年 4月 1日 (至) 平成31年 3月31日

別紙3⑩

(単位:円)

勘定科目		法人本部	専務継続支援課あか・ワ	生活介護事業あか・ワ	生活介護事業わんすてっぶ	合計	内部取引消去	拠点区分合計
部	用							
	サービス区分間固定資産移管費用	0	1	0	0	1	-1	0
	サービス区分間固定資産移管費用	0	1	0	0	1	-1	0
	その他の特別損失	0	0	0	169,479	169,479	0	169,479
	過年度修正損	0	0	0	169,479	169,479	0	169,479
	特別費用計(9)	31,549	6,503,004	5,382,114	11,822,193	23,738,860	-21,029,655	2,709,205
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	-2	4,058,140	-169,479	3,888,659	0	3,888,659
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	227,571	-436,069	15,863,048	5,848,022	21,502,572	0	21,502,572
	繰越							
	前期繰越活動増減差額(12)	-203,930	86,125,718	70,032,561	6,963,253	162,917,602	0	162,917,602
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	23,641	85,689,649	85,895,609	12,811,275	184,420,174	0	184,420,174	
活動								
基本金取崩額(14)	0	0	0	0	0	0	0	
その他の積立金取崩額(15)	1,035,000	0	0	1,358,000	2,393,000	0	2,393,000	
増								
事業運営積立金取崩額	1,035,000	0	0	0	1,035,000	0	1,035,000	
減								
施設整備等積立金取崩額	0	0	0	1,358,000	1,358,000	0	1,358,000	
差								
その他の積立金積立額(16)	145,923	0	7,123,000	5,644,000	12,912,923	0	12,912,923	
額								
事業運営積立金積立額	145,923	0	0	0	145,923	0	145,923	
の								
施設整備等積立金積立額	0	0	7,123,000	5,644,000	12,767,000	0	12,767,000	
部								
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	912,718	85,689,649	78,772,609	8,525,275	173,900,251	0	173,900,251	